

事業実績(令和2年度)

(1) 管理運営事業

ア 施設維持管理業務

男女共同参画社会実現のための実践的活動拠点として、またセンターの3つの機能(情報機能、自立促進機能、交流機能)を十分発揮できるよう、適正かつ効果的・効率的な施設の管理・運営に努めた。

また、多くの人々に親しまれ、利用しやすい施設を目指して、研修室のWi-Fi整備を行い利用促進に努めた。

イ 男女共同参画目的利用促進事業

センター主催講座や男女共同参画に関するセミナー等に参加し、宿泊室を利用した方の宿泊料の負担を軽減し、男女共同参画目的での宿泊室利用の促進に努めた。

ウ 原子力災害避難者宿泊料助成事業

原子力災害により避難された方に宿泊料を助成し、避難により困難になっている地域コミュニティ活動の維持や地域生活における絆を深める活動を支援した。

エ 原子力災害避難者指示区域市町村等研修室等使用料免除事業

研修室等の使用料を免除し、原子力災害により避難指示区域とされた市町村の復興に向けた取組を支援した。

施設利用状況(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

		日数基準				
		可能室数		使用室数		利用率
令和2年4月	研修室	286	室	27	室	9.4%
	宿泊室	484	室	19	室	3.9%
令和2年5月	研修室	297	室	4	室	1.3%
	宿泊室	506	室	13	室	2.6%
令和2年6月	研修室	275	室	56	室	20.4%
	宿泊室	462	室	164	室	35.5%
令和2年7月	研修室	297	室	75	室	25.3%
	宿泊室	506	室	160	室	31.6%
令和2年8月	研修室	286	室	90	室	31.5%
	宿泊室	462	室	90	室	19.5%
令和2年9月	研修室	286	室	130	室	45.5%
	宿泊室	484	室	96	室	19.8%
令和2年10月	研修室	297	室	142	室	47.8%
	宿泊室	506	室	77	室	15.2%
令和2年11月	研修室	275	室	127	室	46.2%
	宿泊室	440	室	91	室	20.7%
令和2年12月	研修室	264	室	109	室	41.3%
	宿泊室	440	室	52	室	11.8%
令和3年1月	研修室	264	室	88	室	33.3%
	宿泊室	462	室	72	室	15.6%
令和3年2月	研修室	264	室	111	室	42.0%
	宿泊室	462	室	85	室	18.4%
令和3年3月	研修室	286	室	142	室	49.7%
	宿泊室	484	室	134	室	27.7%
合 計	研修室	3,377	室	1,101	室	32.6%
	宿泊室	5,698	室	1,053	室	18.5%

(2) 情報関連事業

ア 情報事業

男女共同参画についての情報、専門図書、資料などを収集・提供し、男女が新しいパートナーシップを確立するための自己啓発及び活動等を支援した。

また、情報ネットワークの充実を図るとともに、県外男女共同参画施設の協力を得て、県外の避難者へも広報紙が閲覧できるようにしたほか、広く情報を発信した。

(ア) 図書室運営

図書室において、男女共同参画社会形成の促進に寄与する図書や資料等約4万点を備え、閲覧及び貸出により利用に供した。

内 容	・購入図書・資料の選定 令和2年度購入図書 241冊 ・図書・資料の収集、分類、整理並びに貸出、返却管理 図書貸出利用者数 延べ 1,435名 図書貸出冊数 延べ 3,536冊(うちDVD等6点) ・レファレンスサービス レファレンスサービス件数 延べ 703件
-----	---

(イ) 情報提供

センターの活動内容をはじめとする男女共同参画に関する情報を、ホームページ及びメールマガジン(月1回発行)により提供した。

内 容	・センターホームページアクセス件数 延べ 132,229件 ・センターメールマガジン配信件数(月1回) 1,050件 (令和3年3月末現在)
-----	--

(ウ) 広報活動

男女共同参画の考え方や、センターの活動内容について、広報誌「未来館 NEWS」を発行し紹介するとともに、県政広報その他各種媒体を活用し、普及啓発・周知を図った。

内 容	広報誌「未来館 NEWS」第75号～77・78合併号発行各5,000部 県内の図書館、公民館、高等学校、市町村担当課、各都道府県担当課、全国の男女共同参画施設などに送付
-----	---

イ 調査研究事業

男女共同参画社会の形成を推進するため、現状を把握し、問題解決への道を探るための調査研究を行った。

地域課題調査・研究事業

県内の男女共同参画を推進するために重要な地域の課題やその解決方法について調査・研究を公募し、実施した。

内 容	「福島県のスポーツ界における女性の活躍促進のための調査研究」 研究代表者:蓮沼哲哉氏(福島大学地域スポーツ政策研究所 准教授)
-----	--

(3) 自立促進事業

ア 普及啓発事業

男女共同参画に関する講座や講演会などを開催し、男女平等に向けた意識変革をしながら、男女が互いに個人として自立し、責任を担う力をつけて共に社会参画できるよう支援した。

事業名	男女共生地域連携意見交換会
対象者	自治体・企業の女性活躍促進担当者
内 容	<p>男女共同参画社会の実現に向け、県民の意識の醸成や地域特有の課題等解決の糸口を探るため、企業の担当者や地域住民と館長が、意見交換を行った。</p> <p>(1) 未来館トークサロン in 会津若松 開催日：令和3年1月13日（水） 会 場：會津稽古堂 内 容：企業における女性の活躍促進やワーク・ライフ・バランスなどをテーマとし、互いの活動や取組等を話し合った。 参加者：4名 共 催：会津若松市</p> <p>(2) 未来館トークサロン in 西会津 開催日：令和3年3月25日（木） 会 場：西会津町役場 内 容：地域で女性が活躍するために必要なことをテーマとし、互いの活動や取組等を話し合った。 参加者：10名 共 催：西会津町</p>

事業名	男女間における暴力の防止と被害者支援事業
対象者	県民
内 容	<p>県民を対象とし、DVやセクシュアル・ハラスメント、性暴力などの根絶を図るための啓発事業として、講演会を実施した。</p> <p>開催日：令和2年11月21日（土） 講 師：阿部 真紀氏（認定NPO 法人エンパワメントかながわ理事長） 内 容：講演会「デートDVって知っていますか？ ～10代の3組に1組は起きている!?～」 参加者：20名</p>

事業名	ダイバーシティ理解促進事業
対象者	県民
内 容	性的マイノリティをテーマに、ダイバーシティの考え方についての理解を深め、多様性を認める社会の実現を目指した講演会を開催した。

	<p>開催日：令和2年9月5日（土）</p> <p>参加者：69名</p> <p>内 容：講演会「多様な性について知ろう ～LGBT から SOGI ～」</p> <p>講 師：渡邊 歩氏（早稲田大学 GS センター職員、郡山市出身）</p>
--	---

事業名	市町村男女共同参画促進事業
対象者	県民
内 容	<p>市町村等における男女共同参画推進のため、男女共同参画に関するパネルの貸出を実施したほか、市町村男女共同参画計画策定に関する支援を実施した。</p> <p>(パネルの貸与)</p> <p>○郡山市：令和2年11月 9日（月）～11月17日（火） 12月12日（土）～12月25日（金）</p> <p>○三春町：令和2年10月31日（土）～11月11日（水）</p> <p>(計画策定に関する支援)</p> <p>対象：2町村 (南会津町、飯舘村)</p>

事業名	キラっ人さん活躍促進事業
対象者	県内企業の経営者・管理職等
内 容	<p>女性活躍促進に向けた気運の醸成や、職場・家庭における男女の意識改革を進めるため、女性活躍や働き方改革をテーマとした講演会及びトークセッションを開催した。</p> <p>○講演会及びトークセッション</p> <p>開催日：令和2年11月5日（木）</p> <p>会 場：ビッグパレットふくしま</p> <p>参加者：135名</p> <p>(講演会)</p> <p>「新しい働き方と女性活躍～コロナが変えた価値観と働き方～」</p> <p>講師：健康社会学者（Ph.D）河合 薫氏</p> <p>(トークセッション)</p> <p>「人生を豊かにする新しい働き方」</p> <p>講演会終了後、講師を交え福島県知事、県内で活躍している女性、女性活躍等に取り組んでいる県内企業の代表者によるトークセッションを開催した。</p> <p>出演者：小林 しのぶ氏 (一般社団法人 fukucier（ふくしえる）代表理事)</p> <p>佐藤 光信氏（日本精測株式会社 代表取締役会長）</p>

	河合 薫氏（健康社会学者（Ph. D）） 内堀 雅雄（福島県知事）
--	--------------------------------------

事業名	地域女性活躍推進事業
対象者	市町村等
内 容	地域における男女共同参画の取り組みを促進するため、職員をアドバイザーとして派遣し、地域における課題等の抽出や施策に関する助言提案等を実施した。 対象：国見町、磐梯町、猪苗代町、三春町、川内村

事業名	次世代スクールプロジェクト事業
対象者	県内小学生、中学生、高校生
内 容	<p>県内小・中・高校と連携し、互いの性と人権を尊重することの大切さや自分らしさを発揮する大切さを考えるための連携授業を実施した。 （実施校19校、実施回数44回、参加者2,015名）</p> <p>○連携授業</p> <p>（1）福島県立二本松工業高等学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 開催日：令和2年6月23、26日（火、金） 参加者：1年生（95名）、教職員（4名） 内 容：多様な性 講 師：センター職員 ・第2回 開催日：令和3年1月27、28日（水、木） 参加者：2年生（116名）、教職員（4名） 内 容：男女共同参画・多様な性 講 師：センター職員 <p>（2）相馬市立向陽中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> 開催日：令和2年6月24日（水） 参加者：3年生（98名）、教職員（8名） 内 容：性別にとらわれない職業選択 講 師：センター職員 <p>（3）福島県立安達高等学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 開催日：令和2年7月22、30日（水、木） 参加者：1年生（147名）教職員（2名） 内 容：多様な性 講師：センター職員 ・第2回

	<p>開催日：令和2年12月15、17日（火、木） 参加者：2年生（160名） 内 容：デートDV 講師：センター職員</p> <p>(4) 福島県立郡山北工業高等学校 開催日：令和2年7月29日（水） 参加者：1年生（28名）、教職員（2名） 内 容：男女共同参画 講 師：センター職員</p> <p>(5) 福島県立会津学鳳高等学校 第1回 開催日：令和2年9月16日（水） 参加者：1年生（29名）、教職員（1名） 内 容：多様な性 講 師：センター職員</p> <p>・第2回 開催日：令和2年10月21日（水） 参加者：1年生（40名）、教職員（1名） 内 容：性別にとらわれない職業選択 講 師：センター職員</p> <p>(6) 若草教室（鏡石町教育委員会） 開催日：令和2年10月7日（水） 参加者：2，3年生（3名）、教職員（2名） 内 容：性別にとらわれない職業選択 講 師：センター職員</p> <p>(7) 福島県立あさか開成高等学校 開催日：令和2年10月15日（木） 参加者：2年生（173名）、教職員（7名） 内 容：男女共同参画 講 師：センター職員</p> <p>(8) 福島県立安達東高等学校 開催日：令和2年10月16日（金） 参加者：1年生（40名）、教職員（5名） 内 容：デートDV 講 師：センター職員</p> <p>(9) 福島県立須賀川高等学校 開催日：令和2年10月28日（水） 参加者：教職員（20名） 内 容：多様な性を理解する 講 師：センター職員</p>
--	---

<p>(10) いわき市立上遠野中学校 開催日：令和2年11月5日（木） 参加者：1～3年生（81名）、教職員（9名） 内 容：性別にとられない職業選択 講 師：センター職員</p> <p>(11) 福島県立保原高等学校（定時制） 開催日：令和2年11月11日（水） 参加者：1～4年生（45名）、教職員（10名） 内 容：デートDV 講 師：センター職員</p> <p>(12) 福島県立いわき総合高等学校 開催日：令和2年11月16、20日（月、金） 参加者：2、3年生（73名）、教職員（7名） 内 容：多様な性と人権 講 師：センター職員</p> <p>(13) 福島県立会津工業高等学校 開催日：令和2年12月10、11日（木、金） 参加者：3年生（220名）、教職員（6名） 内 容：ハラスメント 講 師：センター職員</p> <p>(14) 福島県立福島中央高等学校 開催日：令和3年2月10日（水） 参加者：1～3年生（21名）、教職員（4名） 内 容：男女共同参画 講 師：センター職員</p> <p>(15) 福島県立いわき光洋高等学校 開催日：令和3年2月19日（金） 参加者：1年生（194名）、教職員（8名） 内 容：男女共同参画・多様な性 講 師：センター職員</p> <p>(16) 福島県立修明高等学校 開催日：令和3年2月24日（水） 参加者：1年生（79名）、教職員（2名） 内 容：男女共同参画 講 師：センター職員</p> <p>(17) 川俣町立川俣中学校 開催日：令和3年2月25日（水） 参加者：3年生（88名）、教職員（6名） 内 容：男女共同参画 講 師：センター職員</p>

	<p>(18) 福島県立福島工業高等学校 開催日：令和3年3月16、17、18日（火、水、木） 参加者：2年生（151名）、教職員（1名） 内 容：男女共同参画・多様な性 講 師：センター職員</p> <p>(19) 白河市立白河中央中学校（※資料提供のみ） 開催日：令和2年5月26日（火） 参加者：教職員（25名） 内 容：学校の中のジェンダー</p>
--	---

事業名	交流室ロッカー・交流展示スペース管理・運営
対象者	県民
内 容	<p>男女共同参画社会の推進を目的とした活動を行う団体等に、ロッカーと活動の成果品を展示する場の貸し出しの他に、男女共同参画推進を目的とした広報物の展示等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流室ロッカー貸出件数 5件 ・交流展示スペース貸出件数（のべ） 2件

事業名	パネル展 ※自主
対象者	県民
内 容	<p>○男女共同参画週間パネル展</p> <p>男女共同参画週間（6/23～6/29）に併せて、男女共同参画やワーク・ライフ・バランス、イクボス等をテーマとした啓発パネルを展示した。</p> <p>開催日：令和2年6月23日（火）～6月30日（火）</p>

イ 研修事業

男女共にその人権を尊重しつつ責任を分かち合い、個性と能力を発揮することができる男女共同参画社会に向け、家庭や仕事、地域活動などの生活のあらゆる場面においてその実現を阻害する固定的性別役割分担意識を解消するための事業や、男女のライフスタイルや社会情勢の変化に伴い多様化する課題・ニーズに合わせ個人が自発的に課題解決を図ることができるようにエンパワーメントする事業を開催した。

事業名	未来館エンパワーメント塾
対象者	働いている（これから働きたい）女性
内 容	<p>女性活躍を推進するため、女性が職場や地域でリーダーになることを前向きに捉え、自身の能力・スキルに自信を持って活躍できるよう女性の人材育成を図るためのセミナーを開催した。</p>

	<p>※第1回～第3回はオンライン実施、第5回はホームページ掲載 「働き女子のごほうびセミナー」</p> <p>○第1回 開催日：令和2年9月19日(土) 参加者：12名 内 容：「後輩を育て、成果を上げるチームをつくる」 講 師：なかむら アサミ氏 (サイボウズ株式会社チームワーク総研 シニアコンサルタント)</p> <p>○第2回 開催日：令和2年10月3日(土) 参加者：11名 内 容：「これまでの自分を振り返り、人生100年時代のキャリアを 考える」 講 師：星野 雅子氏 (行政書士、女性労働協会認定講師、(株)Miyabi 代表取締役社長)</p> <p>○第3回 開催日：令和2年10月24日(土) 参加者：11名 内 容：「自己主張 (アサーティブ) トレーニング」 講 師：丹羽 麻子氏 (NPO 法人日本フェミニストカウンセリング学 会認定カウンセラー)</p> <p>○第4回 開催日：令和2年11月14日(土) 参加者：6名 内 容：「こころとからだを癒すピラティス」 講 師：宮谷 理恵氏 (Rainbow Moon-虹月-主宰、イベールPエグゼ クティブインストラクター)</p> <p>○第5回 内 容：インタビュー「働くということ」 ゲスト：庄子 まゆみ氏 (南相馬市復興企画部長) インタビュアー：千葉 悦子 (福島県男女共生センター館長)</p>
--	---

事業名	男性のための男女共同参画基礎講座
対象者	県内企業の管理職、社員、県民
内 容	<p>男女が、年齢や性別に関わらずさまざまな分野で活躍するため、職場や家庭、地域において男女共同参画の視点による「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)」の取れた生き方について考える機会を提供し、企業や個人の課題解決・実践を支援した。</p> <p>○イクボス養成講座 ※オンライン実施</p>

	<p>開催日：令和3年2月16日（火）</p> <p>参加者：43名</p> <p>内 容：講演「ウィズコロナ時代が変わる働き方 十社十色の働き方改革 キーパーソンは“イクボス”」</p> <p>講 師：川島 高之氏（NPO 法人ファザーリング・ジャパン理事）</p> <p>○男性のための男女共同参画基礎講座「父子の料理教室」</p> <p>開催日：令和2年12月12日（土）</p> <p>会 場：福島県男女共生センター</p> <p>講 師：渡辺 真夏氏</p> <p>（イタリア料理教室「ブォナ・フォルケッタ」主宰）</p> <p>内 容：男性の家事参画支援を目的とした料理教室</p> <p>参加者：父子3組6名</p>
--	---

事業名	女性のチャレンジ応援講座
対象者	就職・再就職を希望する女性（育児・介護などのために離職している女性等）
内 容	<p>起業を考えている女性を対象に、起業への心構えやその方法、魅力あるサービスや商品づくり等について学ぶ講座を開催した。</p> <p>※オンライン実施</p> <p>開催日：令和2年11月8日（日）</p> <p>参加者：9名</p> <p>内 容：</p> <p>○講義「ゼロから1へ最初の一步を踏み出そう！女性起業の現状と成功のコツ」</p> <p>講師：重巢 敦子氏（キャリアコンサルタント、リファインアカデミー株式会社代表取締役、東北起業女性応援ネットワーク事務局）</p> <p>○女性起業家紹介</p> <p>女性起業家（サロン運営や飲食・製造販売、ものづくりなど業種別で4名）の起業までの経緯や現在の事業説明等を行った。</p> <p>※コーディネーター：重巢 敦子氏</p> <p>○グループセッション</p> <p>女性起業家と参加者とで、起業や運営等に関することについて意見交換を行った。</p>

事業名	教師のための次世代育成成人権セミナー
対象者	県内の教職員、教育事務所並びに市町村教育委員会・男女共同参画推進部局の関係者
内 容	教職員等を対象とし、人権や男女共同参画の正しい認識を深めるとと

	<p>もに、児童生徒への指導実践に資する講座を開催した。</p> <p>開催日：令和2年9月5日（土）</p> <p>参加者：17名</p> <p>内 容</p> <p>○講義「学校における男女共同参画」 講師：櫛田 みゆき（福島県男女共生センター主査）</p> <p>○講話1・2「研修から見えたこと、伝えたいこと」 講師1：今野 友華氏（福島市立矢野目小学校教諭） 講師2：畠山 正儀氏（福島県立修明高等学校鮫川校教諭）</p> <p>○講演会（ダイバーシティ理解促進事業講演会） 講師 渡邊 歩氏（早稲田大学GSセンター職員）</p> <p>※福島県教育委員会との共催事業として開催</p>
--	--

事業名	研修講師派遣事業
対象者	県民
内 容	<p>市町村、企業やNPO等の市民団体が実施する男女共同参画を推進する研修及び学習会等に当センター職員等を派遣するほか、外部講師の情報提供を行い、地域における男女共同参画社会実現に向けた取組を支援した。</p> <p>(1) 職員派遣 派遣回数： 1回（参加者数：17名）</p> <p>(2) アドバイザー派遣 派遣回数： 2回（参加者数：58名）</p>

事業名	市町村男女共同参画担当者研修
対象者	市町村担当者
内 容	<p>(1) 市町村男女共同参画担当者研修 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止した。</p> <p>(2) 市町村男女共同参画担当者会議 開催日：令和3年2月10日（水） 会 場：福島県男女共生センター 第2研修室 参加者：22名（18市町村21名、県振興局1名） 内 容： ○あいさつ 山ノ内 誠氏（県生活環境部男女共生課課長） ○福島県男女共生課からのお知らせ 担 当：遠藤 渉氏（県生活環境部男女共生課主事） ・市町村男女共同参画プラン策定状況 ・令和2年度事業報告、令和3年度事業計画 等 ○福島県男女共生センターからのお知らせ</p>

	<p>担 当：センター職員</p> <p>・令和2年度事業報告、令和3年度事業計画 等</p> <p>○事例紹介</p> <p>「みんなで進める男女共同参画～男女共同参画プランに沿った事業実施の工夫～」</p> <p>発表者：清野 真理氏（伊達市市民生活部市民協働課協働推進係主任主事）</p> <p>○講演「男女共同参画社会って何？」</p> <p>講 師：千葉 悦子（福島県男女共生センター館長）</p> <p>(3) 福島県市町村男女共同参画担当者座談会</p> <p>開催日：令和3年3月9日（火）</p> <p>会 場：福島県男女共生センター 第3研修室</p> <p>参加者：4名（4市町4名）</p> <p>内 容：男女共同参画施策実施における、課内や庁内の協力や連絡体制、プランに沿った事業実施、審議会運営、市民団体との連携等について話し合った。</p>
--	---

事業名	復興・防災と男女共同参画に関する人材育成事業
対象者	自治体職員、社会福祉協議会職員
内 容	<p>(1) 男女共同参画の視点からの防災研修 ※オンライン実施</p> <p>「男女共同参画の視点からの防災研修プログラム」（内閣府男女共同参画局作成）や避難所運営シミュレーションツール「さすけなぶる」（福島大学うつくしまふくしま未来支援センター作成）を用いて、地域における復興・防災における男女共同参画の推進を担う人材育成研修を行った。</p> <p>開催日：令和3年2月25日（木）</p> <p>参加者：22名</p> <p>①講義「復興防災における男女共同参画・多様性の視点の必要性」</p> <p>担当：センター職員</p> <p>②グループワーク「さすけなぶる」</p> <p>講師：北村 育美氏（福島大学うつくしまふくしま未来支援センター客員研究員）</p> <p>(2) 多様性配慮の視点での防災・減災</p> <p>地域防災組織等メンバーを対象として、男女共同参画及び多様性配慮の視点による防災ワークショップ等を行った。</p> <p>開催日：令和2年9月11日（金）</p> <p>会 場：福島県男女共生センター 第2研修室</p>

	参加者：13名（白河人権擁護委員協議会東白川地区部会） 担 当：センター職員
--	---

事業名	再生・復興女性リーダー育成事業
対象者	復興やコミュニティづくりの活動を行っている女性（男性も参加可）
内 容	復興のあらゆる場や組織への女性の参画拡大を図るため、地域において福島の再生・復興を担う女性のネットワーク構築や参加者各自の活動事例などの情報交換等を行った。 開催日：（1）令和2年10月1日（木） （2）令和3年3月3日（水） ※オンライン 会 場：（1）みんなの交流館 ならはCANVAS （2）※オンライン実施 参加者：（1）8名 （2）13名 事例発表者：（1）鈴木 みなみ氏（一般社団法人とみおかプラス） （2）菅野 瑞穂氏（一般社団法人まちづくりなみえ） コーディネーター：北村 育美氏（福島大学うつくしまふくしま未来支援センター客員研究員）

事業名	未来館 WLB・女性活躍サポート事業 ※自主
対象者	（1）健康づくりに関心のある県民 （2）起業及びセミナー等講師を始めたい女性
内 容	ワーク・ライフ・バランスの推進に関する講座を開催しました。また、起業したい女性やセミナー等講師として活躍したい女性の支援を行った。 （1）未来館“きらり”講座「カラダのバランス改善！ヨガ講座」 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止した。 （2）講師デビュー支援事業 起業及びセミナー等講師を始めたい女性が主催するセミナー等について、センター会場の提供、広報の協力、セミナーの運営協力を行った。 採用件数：2件 ①「チェアヨガ講座」 ②「コミュニケーション講座」

事業名	オンライン研修等導入に向けた環境整備事業
内 容	新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、男女共生センターで実施している各種研修等について WEB 会議システム Zoom や YouTube を活用したオンライン研修等の導入に向けた環境整備を行った。 （1）オンライン研修等導入に向けた機器の整備（パソコン・マイク・

	ビデオカメラ・照明等) (2) ホームページ改修 (動画の配信対応) (3) マニュアル作成 ①動画編集マニュアルの作成 ②動画配信マニュアルの作成 ③WEB 会議システム Zoom 研修マニュアルの作成 (4) 研修 WEB 会議システム Zoom を使用した研修、研修動画の撮影・編集及び YouTube 等を活用した動画配信までの一連の業務内容を学ぶための研修
--	---

ウ 相談事業

男女が自立し、生き生きとして生きがいのある人生を送ることができるよう、日常生活から生じる様々な問題や悩みに関する相談や、配偶者からの暴力(ドメスティックバイオレンス)に関する相談及びこれらに関する情報提供を行った。

事業名	一般相談
対象者	県民
内 容	性別にとらわれず生き生きと生きていくために、広く生活全般に係る 相談を行った。 相談内容：広く生活全般に関する相談 配偶者等からの暴力に関する相談 男性相談員による相談 相談方法：電話・面接 相 談 員：男女共生相談員 (嘱託職員) 2名、男性相談員 1名 相談件数：1, 0 8 7 件

事業名	専門相談
対象者	県民 ※カウンセリングは女性限定
内 容	法律問題や健康に関することについて、専門家による相談を行った。 相談内容：法律相談 (月 1 回、2 時間) 相談件数 1 4 件 健康相談「女性による女性のためのカウンセリング」 (月 2 回、各回一人 1 時間程度) 相談件数 8 件 相談方法：面接 (予約制) 相 談 員：法律相談 弁護士 健康相談 (カウンセリング) 女性臨床心理士

事業名	チャレンジ支援相談
対象者	内職や就業 (再就職) を希望する女性等

内 容	<p>内職希望者からの相談や内職求人受付、あっせんのほか、女性の就業援助に関する相談、情報提供を行った。</p> <p>相談方法：電話・面接</p> <p>相 談 員：女性就業援助相談員（嘱託職員）</p> <p>※配置個所 男女共生センター及び県内3ヶ所（郡山、会津若松、いわきの県地方振興局内）に相談コーナーを設置</p> <p>相談件数：934件</p> <p>内職あっせん者数：118名</p>
-----	---

エ 介護実習・普及センター事業

高齢者介護の実習等を通じて、地域住民への基礎知識、介護技術の普及を図るとともに、「高齢化社会は国民全体で支えるもの」という考え方を地域住民に広く啓発する事業を実施するほか、福祉用具の展示並びに住宅改修を含めた相談体制の整備等を行った。

事業名	介護実習・普及事業
対象者	県民、介護専門職員
内 容	<p>介護の実習等を通じて、県民への介護知識、介護技術の普及を図るため、社会福祉法人福島県社会福祉協議会に業務を委託して各種講座等を実施した。</p> <p>(1) 県民介護講座の実施</p> <p>初級介護講座、介護ワンポイント講座、介護実技基本講座、オーダーメイド介護講座、認知症サポーターキャラバン関連研修</p> <p>実施講座数：34回、34日</p> <p>参加者数：686名</p> <p>(2) 地域介護専門職員研修の実施（介護専門職員を対象）</p> <p>地域アセスメント研修、企画力アップ研修、相談援助面接研修、福祉用具・住宅改修研修、排泄ケア研修、ピンポイント介護技術研修</p> <p>実施講座数：15回、25日</p> <p>参加者数：201名</p> <p>(3) 福島県介護研修事業検討委員会の開催</p> <p>※書面開催</p>

事業名	福祉用具・住宅改修普及支援事業
対象者	県民
内 容	<p>(1) 福祉機器展示室の運営</p> <p>福祉機器展示室において、各種用具を展示するとともに、福祉機器企画相談員（嘱託職員2名）を配置し、一般県民からの福祉用具・住宅改修に関する相談を受け、助言指導を行った。</p> <p>来所者数：2,271名</p>

	<p>相談件数：161件（相談内容件数213件） 相談内容：移動機器（34件）、パーソナルケア関連（63件） (2) 福祉用具・住宅改修普及支援協議会の開催 福祉用具・住宅改修の普及事業の円滑な実施を図るため、理学療法士、作業療法士、建築士、福祉用具取扱業者、行政関係者からなる協議会を開催し、優良な機器の選考・展示方法及び住宅改修相談等について検討を行った。 ※書面開催</p>
--	--

(4) 交流関連事業

ア 交流関連事業

県民が、主体的に男女共同参画についての問題に取り組む実践的活動拠点としての機能を発揮するため、自主的な交流の場として男女共生センターを提供するとともに、男女の平等と自立を目指す個人や様々な団体・グループ間の相互交流を促進するための事業を実施した。

事業名	未来館フェスティバル
対象者	県民
内容	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止した。

事業名	男女共生次世代交流会
対象者	県内の高校や大学、専門学校の学生等
内容	<p>若者世代を対象として、ライフステージごとの生き方、女性が継続して働くことなど、男女共同参画や女性の活躍推進のテーマ等での学習や参加者同士の交流を図る機会を提供した。</p> <p>(1) 「ふくしま“けんせつ・どぼく女子”座談会」 内容：県内の建設・土木会社で働く女性から、仕事の魅力・やりがいや一日の生活の様子などを聞き、また、働く女性を交えた意見交換を行いながら、女性が建設・土木業界で働く意欲の向上や、学生同士のネットワークづくりを行った。</p> <p>①郡山会場 開催日：令和2年11月4日（水） 会場：福島県立郡山北工業高等学校 参加者：15名</p> <p>②いわき会場 開催日：令和2年11月26日（木） 会場：福島県立勿来工業高等学校 参加者：17名</p> <p>③会津会場 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止した。</p>

	<p>(2) 「ライフキャリアセミナー」 男女共同参画の視点によるキャリア教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 開催日：令和2年10月9日（金） 会 場：福島県立葵高等学校 参加者：2，3年生 387名、教職員 10名 ※放送大学福島学習センターとの連携事業 ・第2回 開催日：令和2年12月4日（金） 会 場：福島県立福島南高等学校 参加者：1年生 143名、教職員 6名 講 師：吉高神 明氏（放送大学福島学習センター客員教授、福島大学経済経営学類教授） 内 容：労働者の権利やリーガルリテラシー、セクシュアルマイノリティ理解等、これから働く上で参考となるテーマでの授業を行った。
--	--

事業名	民間団体支援事業
対象者	県内で活動中または活動予定のグループ・団体
内 容	<p>県内のNPO等のグループが主体となって自主的に企画・実施する講座やワークショップ等を公募して、センターが企画・広報・チラシ作成の協力、会場・設備等の提供、運営協力等の支援を行った。</p> <p>採択件数：5件 採択企画（団体）：</p> <ol style="list-style-type: none"> ①子どもに「性」を伝えたいあなたへセミナー （こどもの未来を考える「やきいも」） ②デートDV相談ダイアル（ウィメンズスペースふくしま） ③女性行政書士による女性のための無料相談会（福島県行政書士会） ④パパカフェ（爽ユニバーサルデザイナーズ） ※開催を中止した。 ⑤ 震災・原発事故と福島の女性たち （（一社）国際女性教育振興会福島県支部） ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止した。

事業名	開館20年記念事業
対象者	県民
内 容	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止した。